

進学 夢 未来 反達 就職 家族

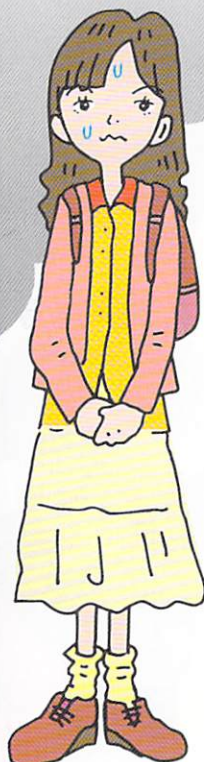
危険ドラッグで 人生棒に振りますか？

薬物に無縁な社会と生活を！

薬物乱用防止 ガイドブック



薬物乱用へ誘いこむ
悪魔くん



正しい知識を伝え、みんなを守る
天使くん

(公財)全国防犯協会連合会

この冊子は、(公財)日工組社会安全財団の助成により作成したものです。

他人事ではない。 あなたにも**薬物の魔の手**が 迫っている。

1995年頃から繁華街の店舗などで販売され始めた「危険ドラッグ」は、
覚醒剤や大麻などの薬物と同じように使用者の心と体を蝕むようになります。

近年ではインターネットでも、「安全」「脱法」などと偽って
「危険ドラッグ」が販売され、高校生や大学生にも危険が及んでいます。

「危険ドラッグ」には脳を刺激して興奮させる作用や幻覚を起こす作用があり、
吸引して呼吸困難で重体になったり、車の運転で死亡事故を起こしたり、
本人や第三者が命を落とす事件や事故が多発しています。

好奇心などから軽い気持ちで薬物に手を出すと、悪魔に魂を奪われます。
誘われても決して使用しない強い意志を持ちましょう。

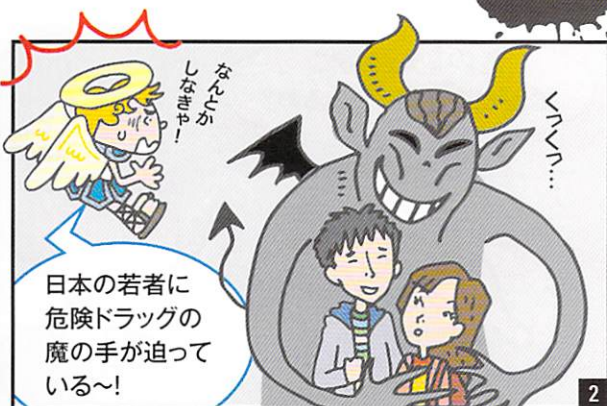
自分だけは
大丈夫だと
思っていないか？

友達から
誘われたことは
ないか？

興味本位で
試した友達が
身近にいないか？



「危険ドラッグ」が許せない理由

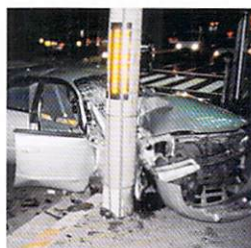


家族や社会を不幸にする重大な犯罪を引き起こし、人生を破滅させます。

「危険ドラッグ」の多くは、覚醒剤や大麻などの化学構造に似せて合成された物質などを植物片に添加したり、液体や粉末にしたりしたものです。含有成分は製品によってまちまちで、覚醒剤や大麻などの規制薬物よりも有害な物質が含まれていることもあり、使用することで脳や体に悪影響を及ぼし、症状として嘔吐、けいれん、意識の消失など、さまざまな健康被害が報告されています。

安易に手を出すと、薬物に依存して自己コントロールができなくなり、慢性中毒に陥ったり、治療のため病院に救急搬送されても、含有成分がわからないため適切な治療ができず、最悪の場合は死に至ります。規制されていないから安全と思うのは間違いで、一度の使用でも人生を破壊させてしまう、とても恐ろしい薬物だと認識してください。

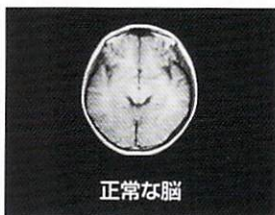
「危険ドラッグ」が引き起こした事件・事故



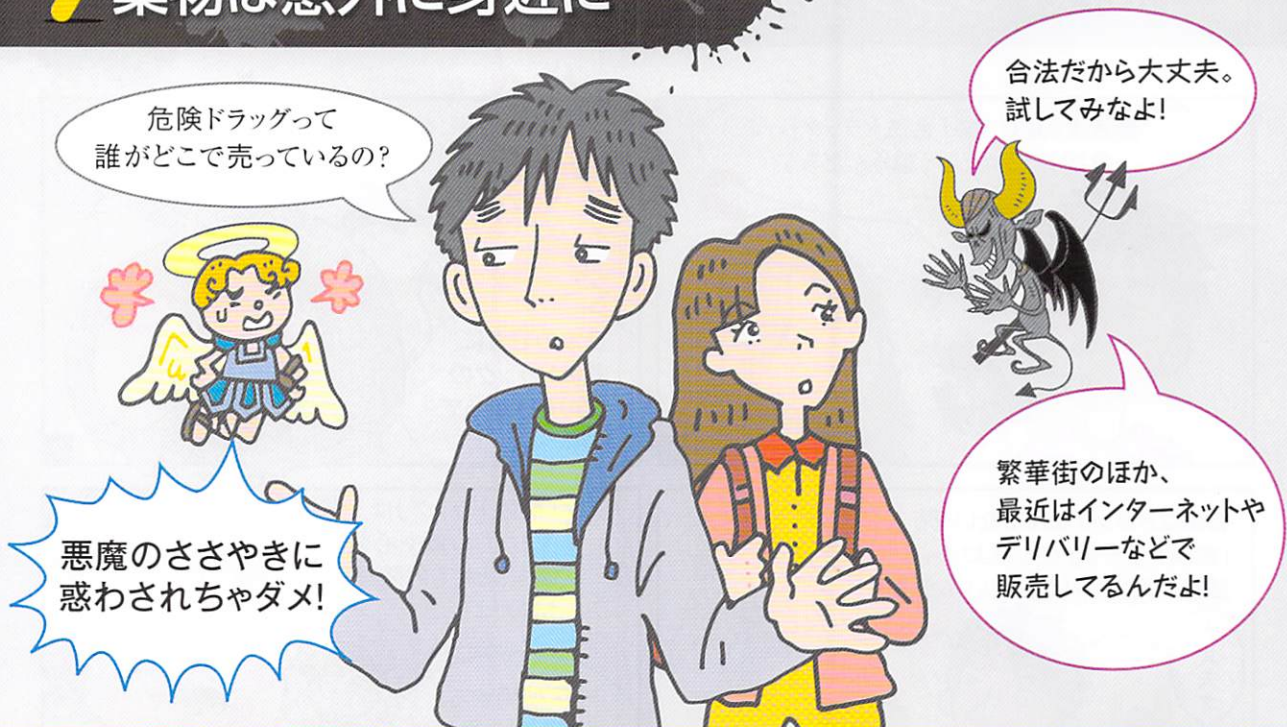
ケースA 危険ドラッグを使った後、自動車を運転し暴走、11台を巻き込む事故を起こした。(2014年 福岡)

ケースB 私は逮捕されて、子供達と引き離されて初めて、自分がどんなにばかしたことなのかと、涙が止まりませんでした。(30代・女性)

薬物と脳の関係



薬物は意外に身近に…



薬物接近注意！ インターネットやデリバリー。身近に潜む悪魔のささやき。

「危険ドラッグ」はどのように販売されている？

「危険ドラッグ」の多くは、「ハーブ」「お香」「アロマオイル(リキッド)」「バスソルト」などと称して、一見ただけでは危険とは思えないように、人体に無害な製品に偽装して、薬物専門のインターネットサイト、デリバリーなどで販売されています。また、自動販売機で販売されていたこともあります。

合法と見せかけて抵抗感をなくしていますが、一般に販売されている「ハーブ」などとは含有成分が全く異なります。安く簡単に入手できるからといって、軽い気持ちで使用し、乱用し続ければ依存状態に陥り、覚醒剤などと同じ様に、さらに強い刺激が欲しくなることもあります。薬物乱用の入口となる「危険ドラッグ」は、「ゲートウェイドラッグ」とも言われています。

看板・店内



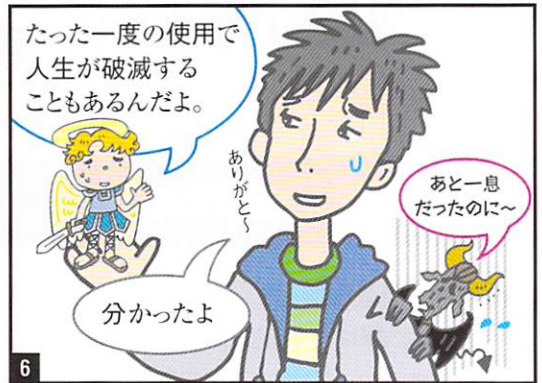
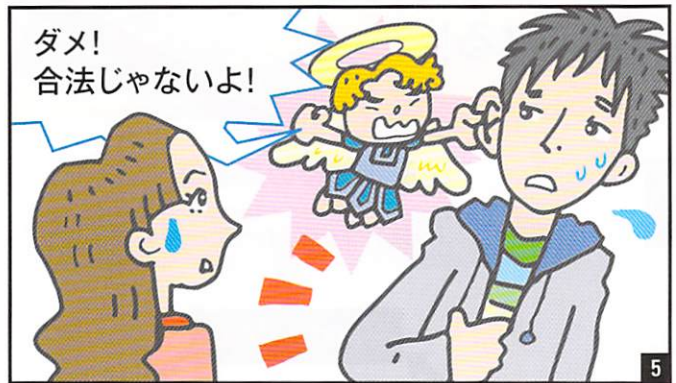
繁華街で見受けられる看板。自動販売機で売られていたケースもある。
写真：薬物乱用防止読本(厚生労働省)

インターネット・携帯サイト



「合法ハーブ」「合法アロマ(リキッド)」「ハーバルライセンス」など、「合法」と称する製品を通販するホームページや携帯サイトが急増中。

写真：薬物乱用防止読本(厚生労働省)



法律で禁止されている薬物と、合法ハーブなどと称して販売されている「危険ドラッグ」



写真：薬物のない学生生活のために(文部科学省・厚生労働省・警察庁・内閣府)



写真：薬物乱用防止読本(厚生労働省)

乱用するとどうなる？



薬物は魔物!

たった一度の好奇心が命取りになる!

体への影響と依存

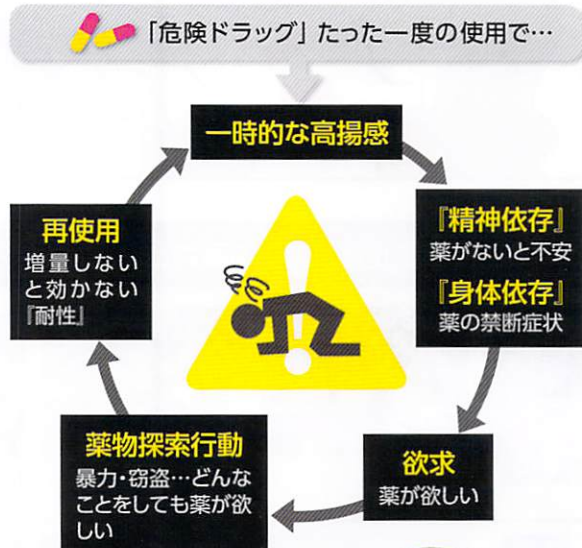
依存性

ドラッグの類は一時的に気分が高揚すると言われています。その感覚が忘れられず、再び手を出してしまいます。薬物によっては特有の禁断症状が現れ、興奮・幻覚作用が切れたときの耐え難い絶望感や不安感、苦しさから逃れるために乱用を繰り返し、やめたくてもやめられない依存状態に陥ります。

耐性

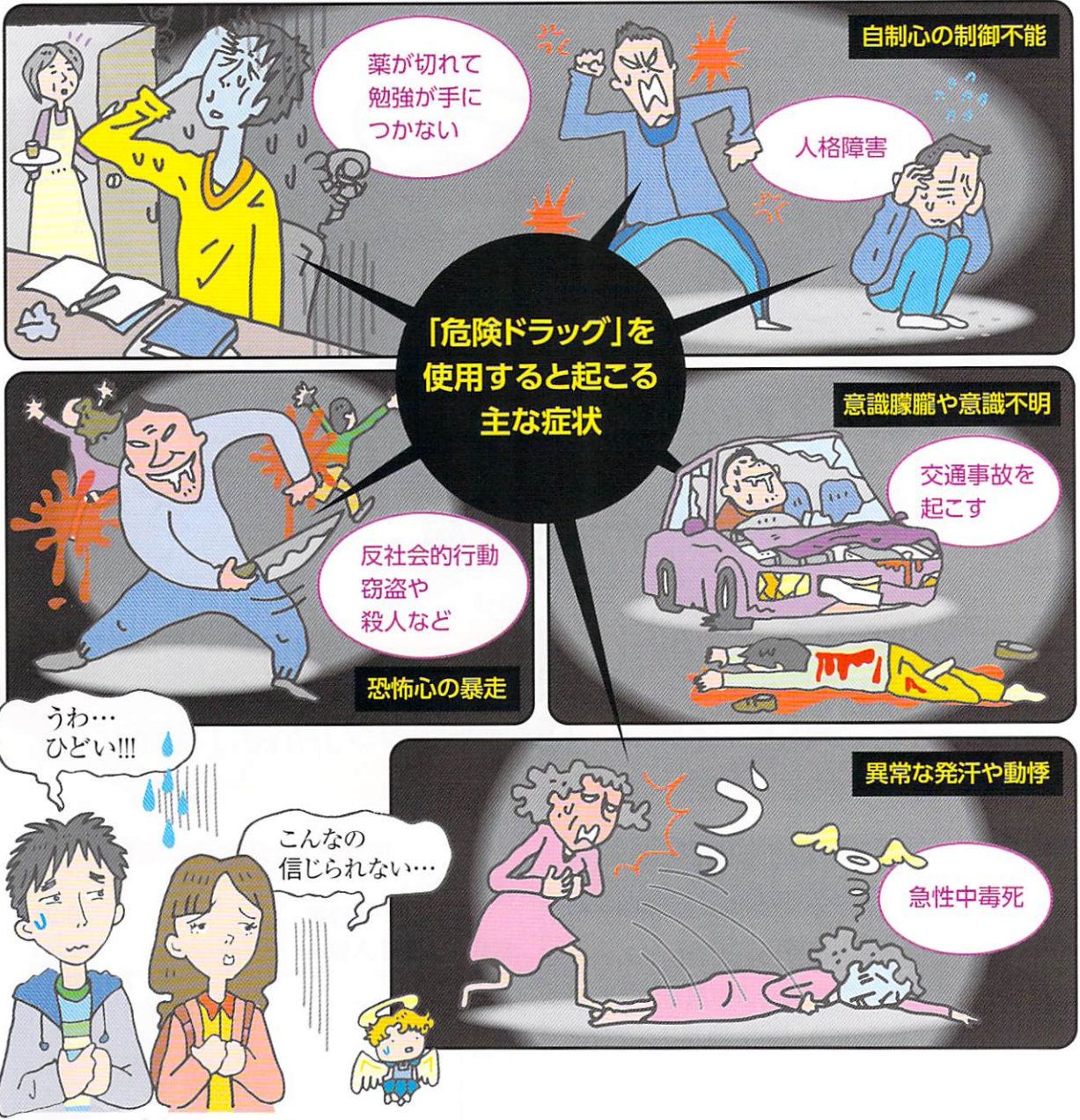
繰り返し使用するうちに薬物の効果が薄れ同じ量では効かなくなる現象を耐性といい、摂取量や回数が増えていきます。そうなると脳や体へのダメージは深刻で、殺人、強盗、放火などの凶悪な犯罪や重大な交通事故を引き起こすことがあります。また、薬物の購入資金を得るため、窃盗などの犯罪に手を染めたり、薬物なしでは生活できなくなります。

薬物依存の悪循環



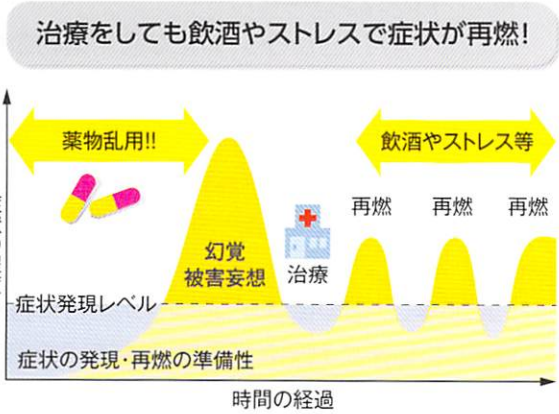
たった一度の使用でも絶対ダメ!!





フラッシュバック(自然再燃)現象

薬物乱用によって破壊された脳の回路は元には戻りません。乱用をやめ、治療をして、表面上は普通の生活に戻ったように見えても、ささいなストレスや飲酒などで幻覚や妄想が再燃することがあり、これをフラッシュバックと言います。薬物乱用の害は一生継続し、依存から抜け出すことは困難です。



薬物はゼツタイ、ダメ!

持っているだけでも罰せられます。
懲役刑など厳しく罰せられます。

「危険ドラッグ」所持や使用など

3年以下の懲役

若しくは

300万円以下の罰金、

または

どちらの刑罰も科せられる!



みんなが、社会が

NO!

え〜っ
そんな〜



社会が動いた!

法律が変わり、 「危険ドラッグ」所持は実刑に。

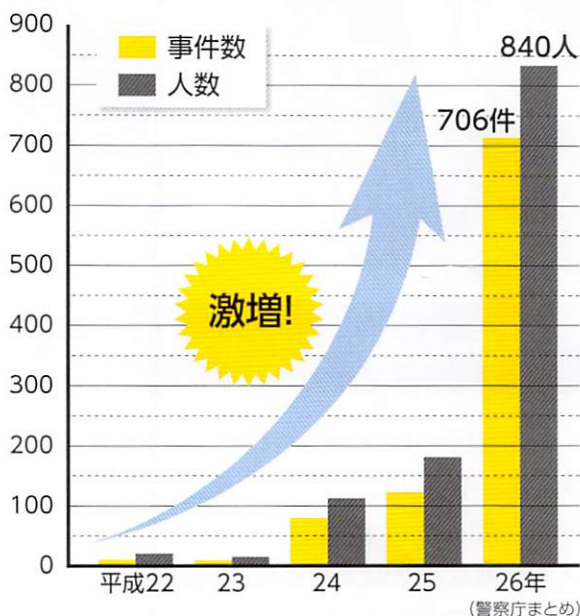
「危険ドラッグ」所持や使用が法律で禁止!

これまで、乱用すると健康被害が発生するおそれのある物質について、医薬品医療機器法に基づき「指定薬物」として、輸入、製造、販売などを行う事業者が規制されてきました。現在は合計2,316物質が指定薬物として、規制対象となっています(平成27年8月29日現在)。

平成26年4月1日からは、新たな乱用薬物の根絶を図るため、乱用する側も取締りの対象となりました。指定薬物の所持、使用、購入、譲り受けなどが禁止され、これに違反した場合は、**3年以下の懲役若しくは300万円以下の罰金か、またはその両方が科せられます。**

平成26年、全国の警察が「危険ドラッグ」に絡んで摘発した事件が706件に上り、前年の5.6倍に激増しました。

危険ドラッグ摘発の推移



危険ドラッグ摘発5.6倍 = 法改正で激増706件・警察庁

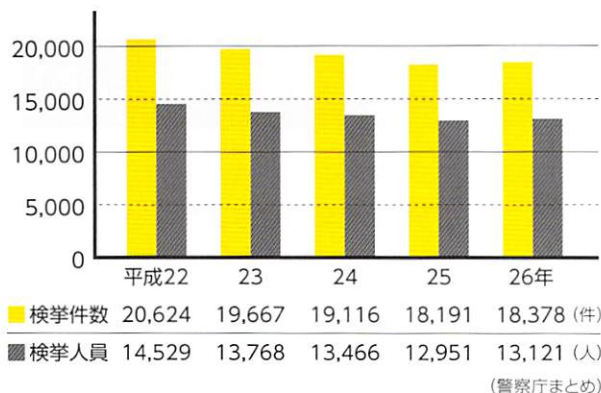


**平和な生活を奪う
薬物にNO!**

薬物事犯の検挙状況

平成26年の薬物事犯の検挙件数は18,378件あり、検挙人員は13,121人で、前年度比+170人(+1.3%)でした。

そのうち暴力団構成員等の検挙人員は過半数を超えており、このことから暴力団が薬物事犯に関わっていることがうかがわれます。



薬物乱用を取り締まる法律 持っているだけでも「懲役刑」など厳しく罰せられます!

シンナー等
毒物及び劇物取締法
懲役 1 年

覚醒剤
覚せい剤取締法
懲役 10 年

MDMA
麻薬及び向精神薬取締法
懲役 7 年

大麻
大麻取締法
懲役 5 年

指定薬物
医薬品医療機器法
懲役 3 年

コカイン
麻薬及び向精神薬取締法
懲役 7 年

あへん
あへん法
懲役 7 年

ヘロイン
麻薬及び向精神薬取締法
懲役 10 年

※「非営利目的の所持・譲渡」の最高刑。 ※覚醒剤の表記については、法律名のみ「覚せい剤」としています。

誘いに乗らない!



断る勇気を!

たとえ友達や先輩に勧められても絶対ダメ。

人生を棒に振るほどの価値が薬物にある?

「危険ドラッグ」などの薬物は、一部の特別な人たちに関係するもので自分には縁がないと思うのは間違いです。統計によると、20代の約5人に1人、10代の約7人に1人が身近に薬物を使用している可能性がある人を知っていると答えています。最近では、注射よりも手軽で痕跡を残さない、覚醒剤をあぶって吸う方法が広まっています。勧められても毅然とした態度で、身近に潜む無責任な甘い誘惑を退けましょう。

いったん薬物依存症に陥ると、治療には長い期間が必要となり、その間に大切な家族や友人を傷つけるばかりか、夢や希望まで失うこととなります。一生を台無しにしないためにも、きっぱりと断る勇気が必要です。

危険ドラッグに関するアンケート

ここ3年くらいの間に、あなたの周囲で薬物を使っている人がいるようなことを「見たり聞いたりしたこと」がありますか?



20代の約5人に1人、10代の約7人に1人が「ある」と回答!

※引用：平成21年度インターネットによる「青少年の薬物乱用に関する調査」(内閣府)



こんな時はキッパリ断ろう!!

知識のない人に誘われたら...



強制的に誘われたら...



興味本位に誘われたら...



彼氏(彼女)に誘われたら...



「危険ドラッグ」は、心の弱さにつけこんできます。

周囲の人から薬物を勧められても

キッパリ断りましょう。

無限に広がる未来の可能性や、

大切な家族、恋人、友人を思い、

無責任な甘い誘いには

絶対にのってはいけません。



「危険ドラッグ」を勧められたり、身近な人が持っていたりしませんか？
 そんなときは一人で悩まず、下記へご相談ください。

厚生労働省

 <http://www.mhlw.go.jp>  03-5253-1111 (代表)



内閣府

 <http://www.cao.go.jp>  03-5253-2111 (大代表)



警察本部、警察署 お住まいの都道府県の警察本部もしくは近隣の警察署へ

薬物乱用問題に関する相談電話 迷わず相談窓口へ

都道府県	名称	電話番号	都道府県	名称	電話番号
北海道	札幌 警察相談センター	011-241-9110	大阪	覚せい剤110番	06-6943-7957
	函館 警察相談センター	0138-51-9110	兵庫	覚醒剤110番	078-361-0110
	旭川 警察相談センター	0166-34-9110	京都	覚醒剤110番	075-451-7957
	釧路 警察相談センター	0154-23-9110	奈良	覚せい剤110番	0742-33-1818
	北見 警察相談センター	0157-24-9110	和歌山	覚せい剤相談電話	073-425-4615
青森	警察安全相談電話	017-735-9110	鳥取	薬物110番	0857-26-3774
岩手	警察安全相談電話	019-654-9110	島根	覚せい剤相談電話	0852-27-4697
宮城	銃器・覚醒剤110番	022-266-1074	岡山	覚醒剤110番	086-233-7867
秋田	覚せい剤・サラ金・悪質商法110番	018-823-0110	広島	覚せい剤・麻薬相談電話	082-227-4989
山形	覚醒剤相談	023-635-1074	山口	総合相談室	083-923-9110
福島	警察安全相談	024-525-3311	徳島	覚醒剤追放ダイヤル	088-653-4444
東京	銃器・薬物ホットライン	03-3593-7970	香川	警察総合相談電話	087-831-0110
茨城	覚せい剤110番	029-301-7979	愛媛	警察総合相談電話	089-931-9110
栃木	覚せい剤110番	028-624-0919	高知	銃器薬物相談電話	088-822-1074
群馬	警察安全相談	027-224-8080	福岡	薬物110番	092-641-4444
埼玉	けいさつ総合相談	048-822-9110	佐賀	警察相談室	0952-26-9110
千葉	相談サポートコーナー	043-227-9110	長崎	警察安全相談	0120-110-874
神奈川	警察総合相談	045-664-9110	熊本	拳銃・覚醒剤相談電話	096-384-4444
新潟	けいさつ相談室	025-283-9110	大分	覚せい剤相談コーナー	097-537-8918
山梨	薬物110番	055-228-8974	宮崎	銃器・覚せい剤110番	0985-20-1074
長野	警察安全相談	026-233-9110	鹿児島	企業対象暴力・けん銃・薬物相談電話	099-255-0110
静岡	ふれあい相談室	054-254-9110	沖縄	麻薬110番	098-862-1483
富山	相談110番	076-442-0110			
石川	警察安全相談電話	076-225-9110			
福井	覚醒剤相談電話	0776-21-4618			
岐阜	警察安全相談室	058-272-9110			
愛知	警察安全相談	052-953-9110			
三重	警察安全相談電話	059-224-9110			
滋賀	県民の声110番	077-525-0110			



 <http://www.npa.go.jp>

ようこそ警察庁のホームページへ。各都道府県警のホームページにもリンクしていますので、ご覧ください。

